

■福岡県公立高校 2026年度入試 結果総評

【北九州地区】

第2学区最難関の小倉高校は、今年度は1.19倍（昨年度1.28倍）でした。第3学区最難関の東筑高校も、1.34倍（昨年度1.46倍）でした。他の高校は、戸畑高校1.15倍（昨年度1.13倍）、八幡高校（理数）0.99倍（昨年度1.24倍）、小倉西高校1.18倍（昨年度1.52倍）、中間高校1.01倍（昨年度1.31倍）、八幡南高校1.12倍（昨年度1.53倍）でした。第1学区の京都高校は0.92倍（昨年度0.88倍）でした。

北九州地区	2026年度入試		2025年度入試	
	募集定員	志願倍率	募集定員	志願倍率
小倉高校	280	1.19	280	1.28
東筑高校	280	1.34	280	1.46
戸畑高校	240	1.15	240	1.13
八幡高校 理数科	80	0.99	80	1.24
小倉西高校	200	1.18	200	1.52
中間高校	200	1.01	200	1.31
八幡南高校	240	1.12	240	1.53
京都高校	240	0.92	240	0.88

【福岡地区】

〔第4学区〕

最難関の福岡高校は、1.43倍（昨年度1.54倍。今年度より定員が400名→440名に変更）でした。香住丘高校普通科は1.24倍（昨年度1.12倍。今年度より定員が360名→320名に変更）、宗像高校は1.06倍（昨年度1.07倍。今年度より定員が400名→360名に変更）、香椎高校普通科は1.46倍（昨年度1.36倍）、新宮高校普通科は0.96倍（昨年度1.23倍。今年度より定員が360名→400名に変更）でした。

福岡地区	2026年度入試		2025年度入試	
	募集定員	志願倍率	募集定員	志願倍率
第4学区				
福岡高校	440	1.43	400	1.54
香住丘高校 普通科	320	1.24	360	1.12
宗像高校	360	1.06	400	1.07
香椎高校 普通科	400	1.46	400	1.36
新宮高校 普通科	400	0.96	360	1.23

〔第5学区〕

最難関の筑紫丘高校は、理数科の倍率が今年度2.65倍（昨年度2.10倍）とかなり落ち着いた昨年から再び激戦となりました。普通科は今年度1.33倍（昨年度1.33倍）と例年並みの水準でした。普通科においては、理数科からの転科合格があるため、実際はこの倍率以上の激戦となっています。春日高校は1.12倍（昨年度1.27倍）、筑紫高校0.93倍（昨年度0.94倍）、福岡中央高校1.07倍（昨年度1.41倍。今年度より定員が360名→400名に変更）、筑紫中央高校1.62倍（昨年度1.45倍）でした。

福岡地区	2026年度入試		2025年度入試	
第5学区	募集定員	志願倍率	募集定員	志願倍率
筑紫丘高校 理数科	40	2.65	40	2.10
筑紫丘高校 普通科	400	1.33	400	1.33
春日高校	440	1.12	440	1.27
筑紫高校	400	0.93	400	0.94
福岡中央高校	400	1.07	360	1.41
筑紫中央高校	440	1.62	440	1.45

〔第6学区〕

福岡県で最難関の修猷館高校は、今年度の倍率が1.66倍（昨年度1.69倍）と例年並みの水準で、相変わらずの激戦でした。城南高校の倍率は普通科1.46倍（昨年度1.36倍）、理数コース1.58倍（昨年度1.65倍）でした。筑前高校は1.01倍（昨年度1.29倍）、糸島高校は0.89倍（昨年度1.05倍）でした。

福岡地区	2026年度入試		2025年度入試	
第6学区	募集定員	志願倍率	募集定員	志願倍率
修猷館高校	440	1.66	440	1.69
城南高校 普通科	400	1.46	400	1.36
城南高校 理数コース	40	1.58	40	1.65
筑前高校	400	1.01	400	1.29
糸島高校	360	0.89	360	1.05

【筑後地区】

第8学区の明善高校理数科の倍率は、今年度2.28倍（昨年度2.35倍）、普通科総合文科コースは、1.58倍（昨年度1.25倍）、普通科は1.10倍（昨年度1.21倍。今年度より定員が200名→240名に変更）と、今年も高倍率で激戦でした。久留米高校普通科の倍率は1.14倍（昨年度1.34倍）、第10学区の伝習館高校の倍率は1.29倍（昨年度1.09倍）でした。

筑後地区	2026年度入試		2025年度入試	
	募集定員	志願倍率	募集定員	志願倍率
明善高校 理数科	40	2.28	40	2.35
明善高校 総合文科	40	1.58	40	1.25
明善高校 普通科	240	1.10	200	1.21
久留米高校 普通科	200	1.14	200	1.34
伝習館高校	200	1.29	200	1.09

【筑豊地区】

第12学区の嘉穂高校理数科の倍率は1.18倍（昨年度0.75倍）、普通科は0.98倍（昨年度1.03倍）でした。嘉穂東高校普通科は0.96倍（昨年度1.11倍）、鞍手高校理数科は0.93倍（昨年度1.00倍）でした。

筑豊地区	2026年度入試		2025年度入試	
	募集定員	志願倍率	募集定員	志願倍率
嘉穂高校 理数科	40	1.18	40	0.75
嘉穂高校 普通科	240	0.98	240	1.03
嘉穂東高校 普通科	200	0.96	200	1.11
鞍手高校 理数科	40	0.93	40	1.00

■入試問題の難易度推移

毎年、福岡県教育委員会が公立高校の全受験者の得点を集計し、全受験者の平均点を発表しています。その結果をまとめたものが、下の表です。令和8年度の全体の平均点は168点でした。

ただし、各科目とも記述式の出題が多く、採点基準が各高校にゆだねられているため、全受験者の平均点を過去のデータと比較する意味が薄れてきているのではないかと考えられます。

福岡県公立高校入試 難易度推移（各60点、300点満点）

	R8	R7	R6	R5	R4	R3	R2	H31	H30	H29	H28
国語	43	37	39	31	36	39	36	39	34	39	39
数学	31	28	32	30	32	29	33	32	31	33	29
社会	32	34	36	33	33	35	29	38	31	31	31
理科	31	29	38	38	37	36	32	32	33	32	37
英語	31	31	37	34	34	35	33	34	33	29	30
合計	168	159	181	165	172	174	163	175	162	164	165

（得点は四捨五入していますので、合計が一致しない場合があります。）